

2020年度（令和2年度）決算

1、はじめに

2020年度は、既存の債務返済と西新橋キャンパス再整備を含めた設備投資計画に必要な資金を賄える決算を目指して運営されましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療収支（医療粗利益）が予算を大幅に下回る厳しい1年となりました。この事態に対応する為に、上期に賞与削減や第三病院建築計画の1年延期等の経費削減対策を行いました。下期に感染対策補助金の交付を受けられたことから、結果的には基本金組入前当年度収支差額（利益）が予算を上回る決算となりました。

2、資金収支計算書

固定資産投資は153億円でした。内容は、西新橋キャンパス再整備の支出を主とする建物24億円並びに建設仮勘定21億円、医療器械25億円、柏病院電子カルテ更新支出を主とする教具20億円、管理棟の隣地購入支出で土地7億円、有価証券投資53億円でした。この結果、次年度繰越金は445億円と前年度比18億円減少しましたが、これ以外に本学は有価証券を297億円保有している為、前期末の現金預金有価証券残高は742億円となり、第三病院建築の再開に懸念ない状態にあります。

3、事業活動収支計算書

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、医療収入は901億円（予算比▲146億円・同比▲14%）、医療収支（医療粗利益）は529億円（予算比▲111億円・同比▲17%）と予算を大きく下回りました。これに対応する為に人件費を含む経費削減対策を実施した結果、支出合計は医療経費を除いて690億円（予算▲30億円・同比▲4%）と予算を下回りました。加えて、予定外の感染対策補助金が111億円交付されたこと、更に同窓、父兄、患者から例年以上にご寄付をいただいたことなどから、基本金組入前当年度収支差額（利益）は59億円（予算+33億円）と予算を上回ることができました。

4、貸借対照表

純資産の増加59億円は当年度の利益です。この利益で借入金や長期未払金（リース支払）の外部負債合計23億円を返済しました。加えて、新外来棟の建築資金51億円を主とする未払金50億円を支払いました。この結果、負債と純資産の合計は▲6億円となりました。資産サイドでは現金預金と有価証券が合計で30億円減少し、この資金で負債サイドの不足を賄うと共に、土地（管理棟の隣地）購入7億円、教具（主に、柏病院電子カルテ更新）8億円、未収入金（主に、感染対策補助金未収分）12億円に充当されました。

5、決算開示方法について

平成16年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットホームページでの決算報告は文部科学省への届出フォームで開示しており、本内容と異なります。